

## 令和4年度第1回学校運営協議会 記録

日時 令和4年7月4日(月) 10:00～12:00

場所 本校会議室

出席者 学校運営協議会委員（4名 A委員 私立大学教授、B委員 障がい者就業・生活支援センター  
所長、C委員 吹田市立就学前施設園長、D委員 本校PTA委員副会長）、校長、事務局（9名）

\*運営委員の吹田市立中学校校長と株式会社部長は欠席

### 1. 校長挨拶

本日は令和4年度第1回学校運営協議会にお越しいただきありがとうございます。

昨年度は、2回目のみ対面での実施でした。一定収まってきたとはいえ、コロナ感染もまだまだどうなるかわかりません。委員の皆様方にはできる限りお越しいただき学校の様子もわかっていただいたうえで、ご意見を賜りたいと思います。

今年度につきましては、「キャリア教育」をキーワードに、学校を12年間の学びの場として捉え、委員の皆様、各々のお立場からご意見を賜りたいと思います。

今日はどうぞよろしく願いいたします。

### 2. 資料の確認 <略>

### 3. 委員の紹介 <略>

### 4. 事務局紹介 <略>

### 5. 現状報告

<令和4年度学校経営計画について>

校長 まずは今年度からの新たな取り組みを紹介いたします。

大きな一つめには、新たな分掌として防災対策部を立ち上げ、地域と連携し災害に対応していこうという取り組みがあります。（2中期的目標3-②）

また、二つめとして、PTA委員としっかり連携を取り、共に教育活動を進めていこうということがあります。（2中期的目標3-②、3-③）

こういった新たな取り組みを踏まえたうえで、中期的目標での重点目標を具体的に列挙します。

中期的目標1では、④「組織的人材育成」があげられます。校内研修の充実、ミドルリーダー育成、初任者育成の取り組みをすすめていきたいと思っています。

次に、中期的目標2では、②「キャリア教育の充実」があげられます。キャリア教育といえば高等部卒業後の進路と捉えがちですが、それに加え、小学部、中学部の段階から、「日常生活」の力をつけ、卒業後も仲間と共に過ごしていける力というところを身につけてほしいという点で、今年度とくに取り組んでいきたいと思います。それに関して、教職員にも必要な研修、学びの機会を設けていきたいと考えます。

最後の、中期的目標3では、PTA委員としっかり連携をとった上で、共に教育活動を進め、家庭教育の充実を図ることが挙げられます。（2中期的目標3-②、3-③）

3-④の校務の効率化についてはまだ道半ばという状況です。教職員の業務負担減を図るためにICTの推進、情報の共有を図ります。

<キャリア発達段階に応じた新たな学部間連携授業について>

教頭 従来、イベント的な形で学部間交流を進めてきましたが、今後は、キャリア発達段階に応じた新たな学部間連携授業をすすめていければと考えています。

子どもたち一人ひとりが、その時その時の自分の役割を果たしながら成長していくために必要なことを教育活動として設定していけたらと考えています。

本校のキャリアマップを紹介します。子どもたちが大きく育ってほしいという願いを緑の木が成長するイメージで表現しているものです。キャリアマップを改めて検討する中で、本校としては、学部間連携、学部間交流を新たに進めていくことにしました。（ここでまずR3年度の実績を紹介・・・略）

さて、従来、進路部が担ってきた取り組みは「学部間連携」授業として継続実施します。今年度からは新たに地域連携部が主催する「学部間交流」授業をすすめていきます。小中高12年間のつながりを深めるために「教科」での連携授業を進めます。すでに「理科」のシャボン玉を題材とした交流授業を進めております。

ゆくゆくは、その内容をシラバスに落とし込むことなどを検討できればと考えております。

<令和4年度教科書の選定について> （略）

## 6. 小学部 授業見学

小学部主事 本年度より、小学部では50分授業を導入しました。それに伴い、2時限目を自立活動とし、帯での活動としています。

さて、今日は、小学部1、2年の月3限グループの授業のうちその一つを見学していただきます。

- ・小学部2年「グループ」授業
- ・単元名「ガチャガチャぼん」絵本に親しもう、ものの名前を知ろう
- ・ICTと実物を組み合わせた授業展開

## 7. 協議（進行は会長の A 委員）

A 委員 それでは協議を始めます。委員の皆様それぞれのお立場からご質問ご意見をざっくばらんにお願いたします。先ほど、校長先生、教頭先生より現状報告もありました。また、授業の見学もありました。思ったところをお聞かせください。

B 委員 「日常生活」の力の育成をどう進めるか？そのために今どんなサポートをするのか？ということとは大事な視点だと思います。将来、具体的に力をどう発揮するのか？というところを踏まえた関わりが大切と自身の経験からも思っています。

また、「家庭との連携」という点も大事な点で、卒業後に手帳の更新、年金手続きなど忘れる家庭も多いので、そういったことも含めて連携でできることは何かと考えます。

ところで、職場環境ということですが、「風通しのよい」職場というのは大切なことです。ただ、上司、中間、若手と立場が違うとその捉え方も違ってくるので、違いをどうすりあわせるかという話になるのかなと思います。また、先生方の時間外勤務の実態も最近ニュースになっているので、それをどうサポートするかということも考えていく必要があるかなと思います。

A 委員 「日常生活」の力をつけるという点で、校長先生、何か柱にされていることありますか？

校長 小学部については、2時間目に帯で「自立活動」を設置しましたので、まずそこから定着させていこうということになると思います。中高については、外部から来た子どもは授業中心でやってきたということもありますので、個別に対応しているという現状かと思っています。その中でも特に、生活上のことでリズムを崩してしまうという子もいますので、いろいろな教育アプローチをする中で、自分から気持ちを整えられるようサポートするということが大切かと思っています。

余暇活動、SNS の適切な活用、性教育といったことも具体的課題です。生き方をサポートするという大きな意味で「日常生活」の力ということになるかと思っています。

A 委員 C 委員 どうですか？

C 委員 「日常生活」の力は、毎日の担任との関わりの中でついてくるのかなと思います。いろんな先生が関わっているとのことですが、「関係作り」の積み重ねにご苦労されていると思うところです。

ところで、グルーピングしている授業を見せていただきましたが、子どもたちが興味のあるところで学べるというのは良いなと思いました。ICT の活用という点でも子どもたちが見てわかりやすいようにということで工夫されているのだなと思いました。

また、ICT による業務の軽減という話もありましたが、どんなことをされているのか教えていただければ。合わせて、防災の取り組みについても教えてほしいです。

校長 校務の ICT 化という点で大きくは進んでいません。例えば、出席簿の入力については実験中という段階です。まあ、かえって使いにくいと思う人にとっては時間短縮になるかどうかですが、それぞれの見方によって疑問なところもあるでしょうか。

防災は、先週に地域の方の避難訓練が実施されました。この地域が水害指定地域となっているということもあります。今年度より、防災業務を分掌として位置付けて、常にマニュアルを見直していくという姿勢で取り組んでいます。

また、避難時における、子どもの食アレルギー対応をどうするかというのも大きな課題です。

A 委員 防災という点で、地域との連携が取れている学校と思います。では、D 委員、いかがでしょうか？

D 委員 キャリアということとは、ちょっと違うかもしれませんが、小から中へと進学する時、子どもも保護者も結構な大混乱状態になります。心理的にも環境的にも。同じ学校の中のことなのにちょっとしたことがちがっても、親が混乱するから子どもも混乱するというパターンがけっこう多かったんですね。子どもも身体的な面での変化もあって、小学部まで穏やかにいけていたのに、中学部になって急にくずれてというパタンもあったんですね。

小から中へ上がっていく時のサポート、教員間の連携をもう少し強化していただければ。学校に来なければあとあとひきずりがちということもあります。強化していただければ、卒業後にもつながるのではと、保護者として思っています。

校長 厳しいご意見をいただきました。引き継ぎという点で早い段階で情報共有してはおりますが、随時、必要と思っております。一方で、中学部という段階での支援のやり方というのもありますので、しっかり考えながらやっていきたいと思っています。

A 委員 ところで、小学部からの進学の子と、地域から進学の子が中学部でいっしょになるわけですが、そういった点で中学部の環境というのはいかがですか？子ども一人ひとりの力、課題という点で違いもあるかと思うのですが。

中主事 小学部では ADL の面での積み上げはあると思います。一方で環境が変わるという点で不安なこともあると思います。内部からの進学ということでも教育相談を数年前からするようになっていますが、中学部に入るにあたってのご不安なことやご希望もお聞きし、新1年の担任にそのことを伝えるようにしています。

地域からどんな子がくるのかという不安もあると聞いておりますが、就学前施設で一緒だったという場合もあり、互いがいい方向で学びあえるクラスづくりというのを心がけています。不安を少しでも減らせるようがんばっているというのが現状です。

教頭 学部が変わることで、同じ学校でも集団構成が変わるので、ある意味一から作り直すという部分があるように思います。それを成長にとってプラスと捉えることができればとも思います。

一方で、環境の変化からか、今まで、できていたことができなくなると不安もあります。それは教員にとっても望んでいることではありません。そういう壁を乗り越えて再びできるようになるという積み上げの期間という点で見てみるのも大事なことかと考えます。1年次は不安ですが2年次3年次になってふりかえると、再びできるようになったなど。前向きに教員も関わられたらと思っています。

A 委員 今ご指摘あった点も含めて、学部間連携・交流をどういう形で進めるか？ということを考えてみたいと思います。支援計画という点での一貫性はあるけれども、同じ学校ではあるが、学部のカリキュラムや文化という面での違いはあるので、学部間連携・交流に新たに取り組むというのはすごくいい試みだと思います。いかがでしょうか？

D 委員 学部間の交流というのは非常にいいことだと思います。日常的にもバス停での子ども同士のかかわりもみえていますのですごくいいと思えます。

A 委員 中から高の時はどうでしたか？

D 委員 小から中というのは初めて外部の子が入ってくるので、子どもたちにとっても衝撃かと思えます。中から高のときは、そんなもんやねと思えます。ですので、小から中のサポートが特に重要だと思います。

B 委員 お話を聞いてきて思ったのですが、子どもにとって何が混乱の原因なのかという点、また、保護者にとって、どういうところで具体的に連携とってほしいか？小中の先生がどう連携取ればスムーズにいけるのかなという点を見つけていくのが必要かと思いました。PTA との連携といったことを考えると、学校側としてこんなことができますよ、ということも示されるのではと思います。先生からご指摘もありましたが、変化にどう対応するかということが、キャリア教育につながるのだと思います。そういった視点で、今どんなサポートが必要かということを考えることが大事に思います。不安を少しでも減らすという点では、中学部に進学したら環境が変わるのは間違いないので、子どもも親も一緒に事前準備できる機会を増やすことが必要かと思いました。その辺を具体的に考えれば対策も立てられるかなと思います。

また、学校は視覚支援ということで丁寧に行われていると感心していますが、卒業後の施設にもその支援があるとは限らないので、こんな支援・対応が有効でしたよといった点での引き継ぎや情報共有も必要ではとも思います。

教頭 一つ大きなことと思うのは、小はクラス担任制、中は教科担任制という違いがあります。小から中へのシステムの変化も不安感につながる一つかと思えます。

事前の体験や情報提供も少しずつ進んでいますが、実際に進学してからの生活の中で見えてくるものもあるので、事前の情報提供だけでは限界があるかと思えます。

A 委員 学部間連携授業を増やすとなると、時間割上の調整はむずかしいですか？

教頭 全学部50分授業となり、時間をあわせていますのでやりやすくなっているかと思えます。

A 委員 C 委員、B 委員、就学前後の立場からはどうですか？

C 委員 「スイスイシート」というのを保護者に書いてもらい、引き継ぎに活用するというのを始めています。

B 委員 事業所の情報をどう保護者に伝えたらと思っているところはあります。PTA との連携などでそんな機会があればと思っています。

校長 「トランジット」の部分は課題が大きいです。今年度PTAでも、保護者の声もあり、就労、ケアといった点で研修会を企画しています。

話を戻しますが、丁寧にキャリアを見ていくという点で、校内では学部間連携を進めていくということになるかと思っています。全学部一緒に取り組むというのも一つの形かなと思います。書道大会やれたらと思っています。

A委員 では、最後に私から一言。支援学校では、4年4年4年で12年という捉え方もありかと思っています。この捉え方で連携や交流を考えてみれば必要なこともみえてくるのではと思います。

また、先生方の交流も必要と思います。例えば、他学部にヘルプでかかわることで見えてくることも多くあると思います。プール指導の助け合いもあったのではないのでしょうか。

今年度、吹田支援では連携・交流の方針で取り組まれますので、2学期3学期とどうだったかという報告も今後聞けることと思います。

では協議をおわります。

## 9. 本日のまとめ

校長 長時間ありがとうございました。今後、連携・交流を柱に教育活動を進めて参ります。どうぞ引き続きよろしくおねがいします。

## 10. 日程の確認 略

## 11. 閉会